

【不正に対する全社指針】

「不正に対する全社指針」(以下、「当指針」)は、プレス工業株式会社グループ(以下、「当社」)における不正行為の特定や、防止・発見に資することを目的として策定するものです。

当指針は、当社役職員、株主、顧客、納入業者、請負業者、それらの業者と取引する外部機関など、当社と関わるすべての主体が関与する不正および不正疑惑に適用します。

不正および不正疑惑に関する主な行動や対応は、次の通りとなります。

✓ コンプライアンス(全般)

法律・規制や社内ルールを守らず、あるいは企業倫理や規範に基づかずに、社会から非難を受けたり、他人に迷惑をかけたりする、不誠実な行動を取ること。

✓ 競争・契約関係

競合他社や業務委託先と公正な関係を築かず、談合などの独占禁止法に違反する行動を取ること。また、キックバックの要請・受領や架空請求、会社資金の流用による私的な購入などを行うこと。

✓ 贈収賄

公務員や取引先に対して金品などの賄賂を渡したり、強要したりすること。また、社会常識・通念から外れた接待・贈答を要求したり、受けたりすること。

✓ 利益相反

会社と個人の利益が一致しない状況が起こったとき、関連する法律・規制や社内ルールに従わず、私的な利益を優先して行動すること。

✓ インサイダー取引

業務などを通じて、会社や取引先の未公表の重要な内部情報を知ったとき、その情報が公表される前に、対象の株式を自ら売買したり、第三者に伝えて売買を勧めたりすること。

✓ 反社会的勢力との関係

暴力団、暴力団関係企業、総会屋、社会運動標榜ゴロ、特殊知能暴力集団、半グレ集団など、疑われる存在を含めて、接点やつながりを持つこと。

✓ マネー・ローンダリング

麻薬取引などの犯罪やテロ行為に関与して入手した資金を洗浄して、合法的な活動で得たかのように偽装する行動に加わること。

✓ 政治との関わり

違法な利益供与や社会常識・通念を逸脱した接待・贈答など、政治・行政との癒着といった誤解を招きかねない行動を取ること。

✓ 商品・サービスの安全性と品質

安全で品質の良い商品・サービスを提供せず、必要な表示を偽ること。また、不具合が発生したとき、速やかにお客様に報告せず、原因の究明や対策を行わないこと。

✓ 知的財産

会社の保有する特許・実用新案などの知的財産を保護せず、侵害すること。また、他社の知的財産を尊重せず、侵害すること。

✓ 財務や業績等の報告、法律・規制に基づく税務処理

財務情報を正確に記録せず、適時に開示を行わないこと。また、関連する税務法規制に従わず、適切な納税を果たさないこと。

✓ 経費関係

交際費、旅費交通費、教育費、図書費など、業務に関する経費に関して、私的流用や使途の偽装、架空請求、過大請求、多重精算などを行うこと。

✓ 会社資産の取扱

会社の保有する資産を十分に注意して管理・使用せず、紛失、破壊、盗難、不正利用などを引き起こすこと。また、業務以外の私的な目的で用いたり、許可なく社外に持ち出したりすること。

✓ 文書等の作成・管理

取引や業務に関する文書等を法律・規制や社内ルールに従って作成しなかったり、管理しなかったりすること。

✓ 個人情報、機密情報の管理

業務に関連して得た個人情報や機密情報を社外に漏洩するなど、法律・規制や社内ルールに従って取り扱わないこと。

不正は必ず発覚します。「誰も自分の行動を見ていない」ということは決してありません。もし不正行為が起こると、会社に経済的な損失や信用面の失墜が発生するのみならず、関与した本人もそれまで築き上げてきた実績や評価をすべて失い、取り返しのつかない事態となってしまうなど、後悔しても済まないだけでなく、社内ルールに従って厳しい処分の対象となることはもちろん、刑事罰に問われる場合もあります。

万一、不正と疑われる誘いに接したりしたら、落ち着いて今一度、「こんなことをやっても自分は胸を張っていられるだろうか。家族はどう思うだろうか」と考え、一人で悩まず上司や同僚に相談してみてください。

また、当指針に反すると思われる倫理上の問題を見かけたり、懸念を抱いたりした場合は、勇気をもって声を上げて頂くようお願いいたします。社内外の通報窓口（ホットライン）は速やかに対応するとともに、相談者を適切に保護します。